

2021年度入学試験問題
情報科学部公募推薦入学試験

数 学 (90分)

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答はすべて解答用紙に記入下さい。また、解答用紙には解答だけを記述するのではなく、解答に至る途中の計算も明記下さい。
3. 出題は高校数学の全分野にわたるので、解ける問題から取り組み下さい。
4. 問題文は2ページから6ページまでです。

[I]

三角形 ABC に対し、辺 BC, 辺 CA, 辺 AB の長さをそれぞれ a, b, c とおく。
また、 $\angle CAB, \angle ABC, \angle BCA$ をそれぞれ A, B, C とする。この三角形 ABC は
すべての角が $\pi/2$ 未満であるとする。

- (1) 頂点 A から辺 BC に垂線を下ろすことで $a = b \cos C + c \cos B$ を示せ。
- (2) 頂点 C から辺 AB に垂線を下ろすことで $a \sin B = b \sin A$ を示せ。
- (3) 半径 1 の円を用いて三角関数 \sin を定義せよ。その定義を用いて $\sin A = \sin(B+C)$ を示せ。
- (4) 上記の (1) と (2) の関係式から、

$$\sin A = \sin B \cos C + \frac{c}{b} \sin B \cos B$$

が分かる。ここで、 B と C , b と c を入れ替えることで

$$\sin A = \sin C \cos B + \frac{b}{c} \sin C \cos C$$

が成り立つことも分かる。上の問題と関連して、

$$\frac{\sin A}{a} = \frac{\sin B}{b} = \frac{\sin C}{c}$$

である。ここまでに導出した関係式を用いて

$$\sin(B+C) = \sin B \cos C + \cos B \sin C$$

を証明せよ。

[II]

二つの放物線 $C_1 : y = ax^2 + b^2x + a^2$ と $C_2 : y = -b^2x^2 + ax + 2b^2x + a^2$ について、次の問いに答えよ。ただし、 $a > 0$ 、 $b > 0$ である。

- (1) C_1 と C_2 のグラフの共有点の座標を求めよ。
- (2) C_1 と C_2 に囲まれた領域の面積を S とする。 S を a, b の式で表せ。
- (3) $a + b = 2$ のとき、 S が最小となる a, b とそのときの S の値を求めよ。

[III]

次の問に答えなさい。

- (1) 次の条件によって定められる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めなさい。

$$a_1 = 2, a_2 = 3, 2a_{n+2} = 5a_{n+1} - 2a_n$$

- (2) (1) で求めた a_n を表わす数式を n の関数 $f(n)$ とする。この関数の定義域を実数全体とした場合を考える。このとき、 $f(n)$ が最小値を取るときの n を求めなさい。

[IV]

複素数 $z = \frac{1}{2} + \frac{i}{2}$ について、以下の問いに答えよ。

- (1) z^2 を求めよ。
- (2) $|z^6|$ を求めよ。
- (3) $|z^n|$ を n の式で表し、 $\lim_{n \rightarrow \infty} |z^n|$ を求めよ。

[V]

(1) 導関数の定義

$$f'(x) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(x+h) - f(x)}{h}$$

を用いて、微分可能な関数 $f(x), g(x)$ の積の導関数の公式

$$\{f(x)g(x)\}' = f'(x)g(x) + f(x)g'(x)$$

を導出せよ.

(2) s, t を実数として、関数の積の導関数の公式を用いて

$$f(t)g(t) - f(s)g(s) = \int_s^t f'(x)g(x)dx + \int_s^t f(x)g'(x)dx$$

を導出せよ.

(3) 正の実数 $x > 0$ に対して、

$$\lim_{h \rightarrow 0} \log \left(1 + \frac{h}{x} \right)^{\frac{x}{h}} = 1$$

であることを用いて、

$$(\log x)' = \frac{1}{x}$$

を導出せよ.

(4) a は $0 < a < 1$ を満たす実数とし、

$$f(x) = \log x - a(x-1)$$

とする. ただし, $f(x)$ の定義域を $x > 0$ とする. $y = f(x)$ は $x = 1$ で x 軸と交わり, さらに $x > 1$ で x 軸と 1 回だけ交わる. この交点を $(p, 0)$ とおき, 曲線 $y = f(x)$ と x 軸で囲まれた領域の面積を S とおく. ここで

$$S = \int_1^p \log x - a(x-1)dx = \int_1^p x'(\log x - a(x-1))dx$$

であることに着目して部分積分を行い

$$S = \frac{1}{2}(p-1)(ap + a - 2)$$

が成り立つことを示せ.